

2025 年 11 月 30 日 (日)

日本キリスト教団 ^{きゅうほうきょうかい} 久宝教会

第 68 巻第 33 号 (通算 3470 号)

教会設立 1959 年 6 月 14 日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺 6 丁目 7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう
週報

教会標語

^{ちい}小さく^{ひと}されている人を
^{たいせつ}大切にする^{きょうかい}教会



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>

【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

谷はすべて埋められ、山と丘はみな低くされる。曲がった道はまっすぐに、
でこぼこの道は平らになり、人はみな神の救いを見る。(ルカによる福音書 3:5-6)

^{あいじしゆくふくげつかん} (愛児祝福月間) ^{たいこうせつ} 待降節 ^{だい} 第1主日礼拝 ^{しゅじつれいはい}

《^{れいはい}礼拝はインターネットで^{ちゅうけいはいしん}中継配信いたします。ホームページにてどなたでも^{しちやう}ご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に^{ばしよ}礼拝をして^{れいはい}頂^{いた}けます》

^{ぜんそう} 前奏 (黙^{もく} 奏^{とう}) AVE VERUM CORPUS (^{ちよさくけんしやうめつ} ©著作権消滅)

^{まね} 招きの詞 ^{ことば} イザヤ書 ^{しよ} 51 章 ^{しやう} 4-5 節 ^{せつ}

^{さんびか} 賛美歌 21-242 番「主を待ち望むアドヴェント」(1 節のみ) (©JASRAC)

^{てんとう} クランツ点灯の詞 ^{ことば}

^{さんびか} 賛美歌 21-241 番「来たりたまえわれらの主よ」(©JASRAC)

^{せいし} 聖書 ^{しんと} テサロニケの信徒への手紙 I ^{てがみ} 5 章 ^{しやう} 1-11 節 ^{せつ}

^{いの} お祈り

^{さんびか} 賛美歌 『みんなのさんびか 1』「だから今日 ^{きやう} 希望 ^{きぼう} がある」(©JASRAC)

メッセージ「クリスマスを迎える準備」

^{うしだ} 牛田 ^{ただし} 匡 ^{ぼくし} 牧師

^{さんびか} 賛美歌 21-542 番「主が受け入れてくださるから」(©JASRAC)

^{しゅ} 主の祈り 21-62 番「天にいます わたしたちの父」(©讃美歌改訂委員会)

^{あいじしゆくふくしき} 愛児祝福式 (*)

^{うしだ} 牛田 ^{ただし} 匡 ^{ぼくし} 牧師

^{ささげもの} 献げ物 (**)

^は 派遣 21-91 番「神の恵みゆたかに受け」(1 節のみ) (©JASRAC)

^{しゆくふく} 祝福 ^{うしだ} 牛田 ^{ただし} 匡 ^{ぼくし} 牧師

^{こうそう} 後奏 アーメン コーラス (21-40-6 番) (©教団讃美歌委員会)

^{ほうこく} 報告 (4 頁 ^{ページ} をご参照 ^{さんしやう} ください)

《^{せき}席にお座 ^{すわ}りになったままで礼拝にご参加 ^{れいはい} ください》

* みんなで出席 ^{しゅつせき} された子どもたちに神様からの祝福 ^{かみさま} をお祈り ^{しゆくふく} します。

* * 「^{ささげもの} 献げ物 (献金) ^{けんきん}」はご用意 ^{ようい} のある方のみ、お献 ^{かた} げ ^{ささ} ください。

招きの詞 イザヤ書 51 章 4-5 節 (聖書協会共同訳)

⁴私の民よ、心して聞け。私の国民よ、私に耳を傾けよ。

教えは私から出て

私は私の公正をもろもろの民の光とする。

⁵私の正義は近く、私の救いは現れた。

私の腕はもろもろの民を裁く。

島々は私を待ち望み

私の腕に期待する。



クランツ点灯のことば

神様、今日から私たちはアドヴェント、イエス様のお誕生を待ち望む季節を過ごそうとしています。どうぞ今年のクリスマス、みんなと一緒に心を込めてイエス様のお誕生をお祝いすることができますように。そのような願いを込めて、一本目のろうそくを灯しました。どうぞ、イエス様が私たちのもとに来られますように。

聖書 テサロニケの信徒への手紙Ⅰ 5 章 1-11 節 (聖書協会共同訳)

¹きょうだいたち、その時と時期がいつなのかは、あなたがたに書く必要はありません。²主の日は、^{ぬすびと}盗人が夜来るように来るということを、あなたがた自身よく知っているからです。³人々が「^a平和だ。安全だ」と言っているときに、ちょうど妊婦に産みの苦しみが訪れるように、突如として滅びが襲って来るのです。決して逃れることはできません。⁴しかし、きょうだいたち、あなたがたは闇の中にいるのではありません。ですから、その日が盗人のようにあなたがたを襲うことはありません。⁵あなたがたは皆、光の子、昼の子だからです。私たちは、夜にも闇にも属していません。⁶ですから、ほかの人々のように眠っていないで、目を覚まし、^b身を慎んでいましょう。⁷眠る者は夜眠り、酔う者は夜酔います。⁸しかし、私たちは昼に属していますから、信仰と愛の胸当てを着け、救いの希望の^{かぶと}兜をかぶり、身を慎んでいましょう。⁹なぜなら、神は、私たちを怒りに遭わせるように定められたのではなく、私たちの主イエス・キリストによって救いを得るように定められたからです。¹⁰主は、私たちのために死んでくださいました。それは、私たちが目覚めていても眠っていても、主と共に生きるためです。¹¹ですから、あなたがたは、今そうしているように、互いに励まし合い、互いを^c造り上げるようにしなさい。

(脚注 a: あるいは「無事だ」、b: 別訳「しらふで」、c: 直訳「建てる」)

《先週のメッセージより》2025 年 11 月 23 日

「人は外見を見るが、神は内面を見る」

牛田匡牧師

聖書 サムエル記 上 16 章 1-13 節

今回のお話は、預言者サムエルが古代イスラエル民族の最初の王とされたサウル王の後継者を探しに行き、ダビデを見出したというお話です。サムエルは神から示された通り、ベツレヘムのエッサイの家を訪ね、その息子たちと会いました。しかし、神はサムエルに「容姿や背丈に捕らわれてはならない。私は彼を退ける。私は人が見るようには見ないからだ。人は目に映るところを見るが、私は心を見る」(7) と言い、次々に兄弟たちを退けます。そして最終的に選ばれたのは、当初選考の場に呼ばれてもおらず、家を離れた野で召使たちが行う仕事である羊の番をしていた 8 人兄弟の末っ子のダビデでした。そこには人間の価値観とは異なる、神の価値観の不思議がありました。

さて、現代社会で暮らしている私たちはどうでしょうか。一緒に暮らしている家族や、日頃から親しく付き合っている友人たちの間では、「外見や見た目より、性格や内面の方が大事」というのは、当たり前かもしれませんが、その一方では初対面の相手に対しては、嘘か本当か「人は見た目が 9 割」などと言われたりもしています。それこそ初めて会って、少し会話を交わした程度では、相手が何を考えているか、どんな性格なのかを理解するのはとても難しいことです。ですから、しばしば学歴や経歴の詐称が行われるというのも、自分を相手に少しでも良く見せようという魂胆から出ていることなのではないでしょうか。しかし、聖書が示す神は決して外見の美しい神ではありませんでした。「イザヤ書」53 章には「彼には見るべき麗しさも輝きもなく、望ましい容姿もない。彼は軽蔑され、人々に見捨てられ、痛みの人で、病を知っていた。人々から顔を背けられるほど軽蔑され、私たちも彼を尊ばなかった」(2-3) と、「苦難を受ける主のしもべ」についての預言が記されています。そしてキリスト教では、この「主のしもべ」こそイエス・キリストとして理解し、その十字架の受難を通して「神からの真の愛が示された」と理解しました。「人々から見捨てられ、見るべき麗しさも輝きも望ましい容姿もなかった」人が、神から遣わされた救い主だったというわけです。夜空が暗いほど、小さく輝く星の明かりが見えるように、苦難の中にあっても決して無くなることのない神様の存在を覚えていたいと思います。「人は外見を見るが、神は内面を見る」と言われる神と共にあって、支えられ励まされながら、私たちは今日もここから、イエス・キリストの言葉と振る舞いに従った歩みへと導かれていきます。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



YouTube



◎ 先週の報告 2025 年 11 月 23 日

礼拝出席 大人 5 人 子ども 2 人 献金 大人 4,300 円 中継視聴者数 9 回 感謝
礼拝後に釜ヶ崎支援のための「おにぎり作り」を行い、皆で 187 個のおにぎりを作りました。いこい食堂にお届けし、食堂向かいの四角公園にてお配りしましたが、列に並ばれる方々が多く、お一人に一つずつしかお渡しすることができませんでした。お米を献品くださった皆様、どうもありがとうございました。来月は日曜日の「おにぎり支援」はお休みで、12 月 25 日（木）のクリスマスに、他の教会やキリスト教主義学校などの関連団体と一緒に、日本コイノニア福祉会からお弁当をお届けして、16 時からお渡しさせて頂く予定です。覚えてお祈りください。

◎次週 2025 年 12 月 7 日（日）待降節（アドヴェント）第 2 主日礼拝

招きの詞 詩編 19 編 8-9 節

聖 書 エレミヤ書 36 章 1-8、22-28 節

メッセージ「神は決して諦めない」牛田匡牧師

賛美歌 21-242、244、237 番（©いずれも JASRAC）、21-231 番（©改訂委）

クリスマスを待ち望む「待降節（アドヴェント）」です。毎週の礼拝の中でアドヴェント・クランツのろうそくに、一本ずつ火が灯されていきます。

礼拝後に、12 月期の「教会を考える会」を行う予定です。

◎お知らせ

- ・これまでの「週報」や「メッセージ（全文）」はホームページに掲載しています。また中継録画のメッセージ部分を YouTube でご覧いただくことも可能です。
- ・12 月 21 日（日）はクリスマス礼拝です。皆でクリスマスのお祝いをいたしましょう。どなたでもご参加ください。礼拝後に、皆で愛餐会（昼食会）があります（参加費無料・事前申し込み不要・食事の持ち寄り歓迎）。
- ・12 月 21 日（日）の午後、14 時～15 時頃にかけて、教会学校・まぶねっこのキッズクリスマスを開催します。久宝まぶねこども園の卒園児を中心にして、みんなでクリスマスのお祝いをします。みんなで聖書のお話を聞いたり、クリスマスの賛美歌を歌ったり、ゲームをして楽しく過ごしましょう。参加費は無料です。水筒を持参してください。おみやげを用意する関係で、参加人数を知りたいので、前週の 12 月 13 日（土）までに、下記の URL より、お申込みください。

<https://forms.gle/PEfaDbRAeHuh2q6p7>

◎次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
12/7	牛田匡牧師	（アドベント）ユーカリスト・教会を考える会
12/14		（アドベント）（第二好意の庭・クリスマス礼拝） 教会堂での礼拝は休会です（Youtube配信のみ行います）
12/21	牛田匡牧師	クリスマス礼拝・ユーカリスト・愛餐会 14 時～キッズクリスマス
12/28	牛田匡牧師	歳末礼拝・誕生者祝福式



Merry Christmas

クリスマス
おめでとうございます

一人のみどりごが私たちのために生まれました。その名は、
「黒くべき指導者、力ある神。永遠の父、平和の君」と呼ばれる神。
（イザヤ書 9 章 5 節）

クリスマスは、イエス・キリストの誕生をお祝いする時です。
平和な世界が来ることを願いつつ、
どうぞ小さな教会のクリスマス礼拝へいらしてください。

【クリスマス礼拝のご案内】
2025年12月21日(日) 10:30～11:30
ウェブサイトにて無料中継配信（申込・登録不要）
（毎日曜 10:00～こどもの礼拝、10:30～礼拝を行っています）

日本キリスト教団 久宝教会
久宝まぶねこども園・南側 牧師 牛田匡 ホームページ